

伊能図200年記念講演会

「人生を二度生きた男」 伊能忠敬

～伊能ウオーク・ツーデー・マーチ協賛事業～

有名な日本地図を完成させた伊能忠敬が17年間に及ぶ大測量旅行に出発してから200年になることを記念して、伊能ウオーク隊が2年間、全国を歩いています。

その一行が、今年、6月2日から5日まで島原に滞在します。

- 教科書で伊能忠敬の名前は知っていても、文化9（1812）年、伊能忠敬一行が11月4日に森山村から愛津村へ入り、島原半島を一周、19日諫早領有喜村へと去ったこと。島原では今の寿屋に宿泊して、精密な測量をしたこと。20年前の寛政4年島原大變の跡を測量日記に残していること。などは、地元の島原でもあまり知られていません。
- この機会に、伊能忠敬の足跡と島原の関係、伊能ウオーク隊のエピソードなどについてのお話しをお聞きます。

テーマ1 「伊能ウオーク隊に参加して」 講師 伊能ウオーク隊参加者から

テーマ2 「伊能忠敬と島原」 講師 松尾卓次氏
(島原城郷土資料館専門委員)



□ とき 平成12年6月3日(土)
午後2時～4時

□ ところ 島原市・白山公民館

入場無料

□ 主催 島原市民文化講座・島原文化連盟・島原市教育委員会

□ 後援 長崎県土地家屋調査士会島原支部

-
- 翌日6月4日(日)には・・・
伊能図展(島原市体育館)、島原ちびっこ伊能測量隊、伊能ウオークが行われます。
-